

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 豊
幹事 小川 耕示
会報委員長 丹羽 克誌

2013～2014年度 国際ロータリー ロンD.バートン 会長テーマ

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2823回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=3週目]

2013年（平成25年）11月18日(月)

職場例会 於：カリモク家具株式会社

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:30 1. 点鐘……………〈会長〉
2. 開会宣言
3. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
4. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
5. 食事

- 12:40 6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/25) ……

クラブフォーラム(ロータリー財団委員会)
卓話 「ロータリー財団未来の夢計画について」
講師 地区補助金委員会
委員長 櫻井 繁 様
(紹介者 毛受 豊 会員)

- (12/2) ……
卓話 「スウェーデンにおける高齢者の
医療・福祉と緩和ケア」及び「有
料老人ホームについて」
講師 株式会社博愛ナーシングヴィラ
代表取締役社長 宇佐見詞津夫 様
取締役 小野 雄司 様
(紹介者 室殿 豊 会員)

2. クラブフォーラム……………〈司会：職業奉仕委員会〉

- 12:50 「ご挨拶並びに概要説明」
～13:10 カリモク家具株式会社
取締役社長 加藤 英樹 様
(紹介者 加藤 真治 会員)

12. 謝辞
13. 諸事ご案内……………〈職業奉仕委員長〉
14. 点鐘……………〈会長〉

- 13:10 ショールーム並びに新本社事務所見学
～14:00

出席席

会員総数 97名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 8名 出席率 90.70%
前々回(10/28)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 11月15日に学校訪問コンサートで日高小学校へ社会奉仕委員の神谷光義会員と共に行ってまいりました。
2) 11月17日にガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会が開催され、刈谷RCが団体優勝しました。個人優勝は磯部一智会員がグロス80ネット70.4、例会の部でもネット74で優勝されました。

幹事報告

- 1) 11月24日(日曜日)にウェスティンナゴヤキャスルにて地区大会が開催されます。午前10時30分にJR刈谷駅改札前にご集合下さい。伊藤副幹事がお待ちしております。
2) 吉原孝彦会員が地区ロータリー財団委員会で卓話講師として名古屋東山RCを訪問されバナー交換をされてまいりました。

人々の絆で結ばれた洲原神社

鈴木 豊



刈谷市の北部を象徴する洲原池は、桜の名所として広く知られるようになりました。

池の守り神として祀られる洲原神社の建立には諸説ありますが、江戸時代に建立されたというのが一般的です。

そこで、1つの仮説を立ててみましょう。市史などによると、洲原池は江戸時代刈谷藩主土井利徳のとき(1767～87)に境川の浸食谷をせき止めて築造。一方、洲原神社の建立は安永年間(1772～1781)と言われます。

そのころ、刈谷では各地で新田開発が行われ、井ヶ谷でも、大きな溜池を作り、農業振興が図られました。新池と呼ばれる刈谷市最大の池が築造されたのです。しかし、小藩の事業であるため、高度な築造技術もなく、毎年のように堰堤は決壊し、大きな被害を出しました。水漏れも激しく、人々は修復に追われる日が続きました。

困った人々は、寄り合いを重ね、膝を付き合わせて相談した結果、五穀豊穡の、雨乞いの神として名高い美濃国・洲原神社の分社を創建することになりました。その日から、村中総出で神社づくりを手伝ったのです。男たちは、棟梁に従い柱を立て、女たちは賄い、子どもたちは草刈りに汗を流したのでしょうか。その悲痛な叫びの中から、神に願う心が1つに結ばれました。

洲原神社が建立した日、人々はひざまずき、二度と決壊しないように祈り続けたことでしょう。

それ以来、新池は洲原池と呼ばれるようになり、洲原神社のご加護と、人々の深い絆により、二度と決壊しませんでした。

数年前までは、県道からは田園風景の先に洲原神社を見ることができましたが、近年、多くのアパートや住宅が立ち並び、確認すら難しくなっています。しかし、樹木に包まれた静かな境内は、時間を忘れたように静かに洲原池を見守っているようです。

〈職業奉仕委員会〉

「ご挨拶並びに概要説明」

カリモク家具株式会社

取締役社長 加藤 英樹 様



本日は見学時間を十分に取りたいために私の説明時間は極力短くしたいと思います。また、見学後は流れ解散となります。お帰り頂いても構いませんし、引き続きショールームを見学頂いても構いません。

それでは当社の説明にさせていただきます。

カリモクの理念は「品質至上」であります。

創業者の加藤正平の時代から「誰かが歩いた道のを追うのではなく、自ら切り拓く挑戦への道を進もう」という企業風土がカリモクの礎となっております。

続いてカリモクの資材から販売までの体制についてご説明致します。

主材であります木材を調達するために4つの工場がございます。統括会社としての知多カリモク。秋田のブナ材の調達のために設立したカリモク秋田。北海道のナラを調達するために設立した大成産業。マレーシアにてラバートリーを調達するために設立したカリモクマレーシア。現在では国内調達は難しくなりブナはヨーロッパから秋田に、ナラはロシア等から大成に輸入しております。

それらの加工する完成品工場が5社あります。ソファー等を製造しておりますカリモク家具。食堂椅子、食堂テーブル等を製造しております岐阜カリモク。木肘椅子、リクライナーを製造しております東浦カリモク。学習机等を製造しております岐阜キャビネット。食器棚等を製造しております豊明木工です。これらで製造したものをカリモク家具の営業部の27の営業所と20のショールームのネットワークを通して全国に販売しております。

販売までのプロセスは、カリモク家具の営業部を通して、全国の家具専門店、百貨店、最近では住宅産業の皆様を通して一般消費者の方々にお届けしております。

カリモクのブランドはプレステージブランドとしての domani。ナショナルブランドとしての karimoku。60年代より長きにわたり製造し続けているカリモク60。新しい普遍、自然、技術が共生するブランドとして始めた karimoku new sutandard。等がございます。

続きましてカリモクのこだわりについて2、3ご紹介致します。

「100歳の木を使うなら、その年輪にふさわしい家具をつくりたい」という思いから、人と自然にやさしい家具作りのために、トルエン、キシレン等を含まない塗料の採用等に取り組み、業界最高水準のF☆☆☆☆を採用しております。

また安心して長くご愛用頂くために3年保証と永久修理対応をしております。

人にやさしいという面ではいち早く座り心地にこだわり、研究を続けております。

主材としての木材には1番こだわりを持っており、木材の乾燥と適正な含水率を確保するために独自で確立した多数の工程をへて、厳重に管理を進めております。

また、環境保全の取り組みから、森林管理認証のFSCやPEFCのCoC認証を取得しております。

続きまして本年6月より使用を開始致しました新本社屋についてご説明申し上げます。

まずカリモク家具の概要でございますが、設立は昭和22年です。資本金は4,500万円。ピークと比べますと売り上げは半減しておりますが228億円です。国内の家具市場が三分の一になっておりますので致し方ないかなと思っております。

従業員数は712名です。役員紹介。営業担当副社長は実弟の正俊。現在大府 RC の会長です。製造担当副社長が従兄弟の洋。海外担当が従兄弟の信です。

本社屋の概要ですが、敷地面積が3236坪。建設面積が1216坪。延床面積が1487坪。建物だけの総工費が10億円です。

新社屋の床材は当社で調達し専門業者に加工して頂きました。階段の集成材や室内扉、カウンター、デスク等の調度品で弊社が作成できるものはすべて作りました。

新社屋自体が弊社の技術、できることのショールームとなるように致しました。

入り口を入ると木の香りがして当社にふさわしい新社屋ができたと自負しております。

最後にソーラー発電事業についてご説明致します。グループの5施設の屋根に設置致しました。総設備費用が8億円。発電量が320万kw。年間売電収入が130百万円です。それではご案内させていただきます。



11月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成25年11月17日(日)

於：葵カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	磯部 一智	80	6	74
2位	神谷 光義	89	12	77
3位	深谷 稔彦	87	10	77
B B	吉岡 秀記	109	18	91

